

# 21世紀の世界に羽ばたき、 生き抜く子どもたちとともに

## あ い さ つ

福島県教育委員会教育長 高城俊春

近年、子どもたちの規範意識の低下などによる様々な問題行動が深刻化する中であって、子どもたちに望ましい社会活動をする上で必要となる力を身に付けさせることが強く求められております。また、こうした状況の背景として、人との関わりや自然とのふれあいなど、子どもたちの社会体験や自然体験が著しく不足していることが指摘されております。

このため、本県では平成10年度から、子どもたちの道徳的実践活動に取り組む意欲を高めるとともに、学校・家庭・地域社会が連携して豊かな体験活動の場を提供し、日常生活における具体的な実践に結び付く道徳的実践力の向上を図ることを目的に「福島県道徳的実践活動推進事業」に取り組んでまいりました。

今年度は、この事業の一環として、浪江町において「福島

県道徳教育振興会議」を開催しました。委員の方々におかれましては、学校の道徳の授業を参観するなど、目の前の児童生徒の実態や学校における道徳教育の実情に直接ふれるとともに、子どもたちの豊かな体験の場を拡充するための学校・家庭・地域社会の役割について熱心な討論を重ねていただき、この度、素晴らしい御提言をまとめていただきました。委員の皆様はじめ、全面的な御支援を賜りました浪江町当局並びに浪江町教育委員会に対し、厚く御礼申し上げます。

県民の皆様には、この貴重な提言を御理解いただきますとともに、それぞれの地域や立場で、子どもたちの道徳性を高めるため、思いやりの心などを育む場や機会を提供していただくとともに、励ましの言葉をかけていただき、子どもたちが人間としてよりよい生き方を学ぶことができるよう一層の御協力、御支援をお願いいたします。

## 生涯にわたり、心を育て続けるために

福島県道徳教育振興会議会長 菅野正敏

景気低迷の中でもものあふれる便利さを求める生活、少子化が続いていても変えがらない家族志向の弱さ、価値観の多様化を制御せず容認するあまり、変化する社会の様々な問題への解決が後回しになるなど、対応に硬直性ともどかしさが残り、心を育てる価値の高まる中、21世紀最初の1年が経過しました。小中学校とともに新学習指導要領本格実施の年を迎え、また高等学校も次年度移行最終年度の年になります。

道徳教育振興会議では、子どもたちが自信を持って明るい希望と夢を語り、他とのよい関係づくりこそが自分の人生を確かなものにするのを、またそのために地域社会・家庭・学校がそれぞれの役割と責任を認識し、強く連携し、踏み出すことの必要性を再確認しました。

子どもは、仲間や自然との関わりの中で、様々な体験や経験を通して生きる力を身につけてまいります。芸術、文化、スポーツ、経済生活等について大人は子どもに体験や経験の価値ある場を設け、その扉の中に子どもを招き入れるように努め、それがかなり成功を収めてきたことは確かです。

しかし、心のあり方を磨き、高め続けることについては、価値ある場を十分配慮していると言えないところがまだありま

す。現在、子どもたちが地域に支えられていると感じたり、地域の文化や自然に接したりすることは確かに少なくなっています。

触れあい、心が通い合い、心がつながることを大事にする意識もずいぶん弱まっています。心を生涯にわたり磨き続け、育て、後人に示す価値あるものとしては十分とらえていないところがあります。

地域社会や家庭や学校が子どもたちのために「ふるさとの歴史を学ばせ、美化環境を考えさせ、よさを味わわせる。子どもの顔が地域の多くの人たちに知られることが大切。」「あいさつは心の言葉のキャッチボール。触れあいは子どもたちに勇気、自信、耐性を育む」「素直な心を持つ子どもを育てたい。夢は生きる源であり力である。つながり、結びつきを深め大事にしたい。」など多様な視点から議論を重ね、検討し、働きかける提言をまとめました。

地域社会・家庭・学校が手を携えてそれぞれやれることから一歩を踏み出し、21世紀の世界に羽ばたき、生き抜く子どもたちとともに笑い、夢を語り、心を育み続ける実践を着実に推進されることを願っております。

### ●●●●●●●●●● 平成13年度福島県道徳教育振興会議委員名簿 ●●●●●●●●●●

◎会長 ○副会長 ●各委員長 (50音順)

氏名	委嘱時の職名	氏名	委嘱時の職名
◎菅野 正敏	浪江町立浪江中学校 校長	牛来 紘子	浪江町公民館運営審議会 委員
○●泉田 重章	浪江町立浪江東中学校 P T A 会長	佐藤 寿明	福島民友新聞社浪江支局 支局長
●佐藤 一男	ボーイスカウト福島第77団 育成会長	新谷 保基	浪江町新町商店会 会長
●紺野 芳雄	浪江町スポーツ少年団指導者連絡協議会 会長	鈴木喜美子	浪江町ボランティア連絡協議会いきいきサークル 代表
安部 拓志	浪江町教育委員会 教育委員長	平子かおる	福島県立浪江高等学校 P T A 評議員
氏家 淳	福島民報社浪江支局 支局長	根岸 弘正	浪江町教育委員会事務局 教育総務課長
大杉 喬	東北電力㈱浪江・小高原子力準備本部 本部長	根本 清己	浪江町立大堀幼稚園保護者会 副会長
大谷 隆英	学校法人大谷学園浪江幼稚園 理事長	原 順一	福島県立浪江高等学校 教頭
大和田明美	浪江町立浪江小学校 P T A 副会長	半谷 一芳	浪江町立苅野小学校 教頭
菅野 亜夫	救護施設福島県浪江ひまわり荘 園長	持館 正広	浪江警察署刑事生活安全課 生活安全係長